

逆賊の幕臣 小栗上野介 その人と時代

2027年1月からの大河ドラマは「逆賊の幕臣」、小栗上野介忠順(ただまさ)です。神奈川で小栗というと「小栗判官」が思い浮かびますが、浄瑠璃のなかのお話しです。上野介というと吉良が有名ですが、元禄の赤穂浪人の敵役です。判官は裁判官の意味もありますので、忠順は江戸町奉行もやっていますから、判決を言い渡したこともあると思います。敵役といえば、新政府の東山道総督軍から目の敵にされ、斬首されてしまいました。新政府が最も恐れた幕府の要人です。横須賀造船所(のちの横須賀海軍工廠)建設も忠順の業績の一つです。小栗忠順の知られざる生涯と生きた時代をお話しします。

講師 東洋大学人間科学総合研究所所長・文学部教授 岩下哲典先生

日時 2026年8月14日(金)14:00~15:40(開場13:30)

会場 横浜市歴史博物館 2階講堂 (横浜市営地下鉄センター北駅徒歩5分)

参加費 一般500円



(像 肖 公 順 忠 介 野 上 栗 小)



上:国立国会図書館「近代日本人の肖像」 下:東善寺所蔵 小栗が米国から持ち帰ったネジ

右:茅ヶ崎市美術館所蔵 小林清親「日本名勝圖會 横須賀造船所」

申込 8月4日(火)までに横浜古文書を読む会事務局へ右のQRコードから入力してください。問い合わせ ykomon.sato@gmail.com
申込多数の場合は抽選となります。

主催:横浜古文書を読む会 共催:横浜市歴史博物館

